

大谷学会

◇春季公開講演会

五月二十六日(水) 午後四時二十分

於 講堂

念仏は人間に何を与えるのか
—親鸞を通して考える—

本学教授 一楽 真

いまを生きる力

作家 五木寛之

真宗総合研究所

◇委員会

一月十二日(火) 午後四時三十分

於 博綜館第四会議室

- ・東京分室PD研究員の採用について
- ・二〇二二年度「一般研究」について
- ・その他

二月二十四日(水) 午前十時

於 博綜館第五会議室

- ・二〇二二年度「特定研究・指定研究」等の研究組織・研究計画について
- ・「一般研究(本研究)」について
- ・その他

三月二十三日(火) 午前十時

於 博綜館第五会議室

- ・二〇二二年度「特定研究・指定研究」研究計画について
- ・その他

五月十四日(金) 午後四時三十分

於 博綜館第五会議室

- ・特別研究員の委嘱について
- ・二〇二二年度研究組織について
- ・その他

六月十八日(金) 午後四時三十分

於 博綜館第五会議室

- ・客員研究員の受入れについて
- ・研究所紀要ガイドラインの改正について
- ・その他

◇二〇二二年度「特定・指定研究」

「資料室」研究成果報告会

三月二十三日(火)

サイボウズにてオンデマンド配信
◇二〇二二年度研究員総会
三月二十四日(水)

サイボウズにて書面会議

- ・研究所長及び東京分室長の退任・就任について
- ・二〇二二年度研究倫理/コンプライアンス教育について
- ・オンライン研究会・学会開催・参加のサポートについて

・真宗総合研究所「特定研究・指定研究」

「資料室」研究成果会について

・真宗総合研究所への要望・意見について

真宗学会

◇「親鸞教学」第一二三号発行 (三月三十一日)

〈目次〉

現生正定聚と浄土の慈悲(二) — 重要な
り合う「証」 — 井上尚実

「宿業」の思想的意義についての一考察
藤元雅文

清沢満之手沢本『ティーチング、オブ、エビクテタス』の書入れに関する一考察―安藤州一の言葉を導きとして―

川口 淳

衆生に自覚を開く名と相―願生論（十

八）―

安田理深

大乘仏教の歩み―親鸞の眼を通して―

龍樹①

木越 康

◇新入会員歓迎講演会並びに総会

五月十八日（火）午後一時～

於 二号館二二〇一教室

親鸞に学ぶ

於 本学教授 井上尚実

仏 教 学 会

◇研究発表例会

一月十三日（水）午後四時二十分～

於 慶聞館K二〇二教室

ツォンカパの密教思想

於 本学教授 福田洋一

安田理深「縁起法の考察」について

於 本学任期制助教 梶 哲也

◇卒業論文・修士論文梗概発表会

一月十四日（木）午後四時二十分～

於 慶聞館K二〇三教室

発表会終了後に記念撮影を行った。なお、

例年開催していた送別懇談会は新型コ

ロナウィルス感染拡大防止の観点から

中止した。

◇福田洋一教授最終講義

二月二十四日（水）午後三時～

於 響流館メディアホール

（並びにYouTubeによるオ

ンライン配信）

ツォンカパ思想の形成過程について

―中観・道次第・密教―

※本講義は本学文学部仏教学科のほか、

本学文学部人文情報学科並びに本学

大学院文学研究科国際文化専攻との

共同で主催した。

哲 学 会

◇『哲學論集』第六十七号発行

（二月二十八日）

〈目次〉

追悼 訓覇睡雄先生

村山保史

「協同」という共同性―田辺元の実存協

同の思想―

竹花洋佑

解釈学的経験と《あなた》理解

味村考祐

若勢の「自立性」検討のための整理―

細谷昂の小経営概念を手がかりに―

阿部友香

裁判アクションを通じた原告のエンパ

ワーマントローパウロ・フレイレの規

点から― 中野加奈子

◇春季研究大会

三月十七日（水）午後一時～

オンラインシステム（Zoom）を

活用して実施

モビリティのこれから―Massによる

移動の変革―

本学社会科学部助教 野村 実

色と形・ショーペンハウアー哲学にお

けるプラトンのイデアについての試

論 本学哲学科助教 鳥越覚生

◇二〇二一年度総会及び

『哲學論集』第六十七号合評会

六月五日（土）午後一時三十分～

オンラインシステム（Zoom）を

論文合評

活用して実施

若勢の「自立性」検討のための整理―

細谷昂の小経営概念を手がかりに―

佐久大学人間福祉学部 阿部友香

解釈学的経験と《あなた》理解

本学 味村孝祐

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会一月例会

一月二十三日(土)午後二時

Zoomによるオンライン開催

真宗得度儀礼の展開―十八世紀後半ま

でを対象として―

堅田 理

◇大谷大学日本史の会三月例会

三月二十七日(土)午後二時

Zoomによるオンライン開催

安藤昌益の思想世界―『自然真言道』

にみられる「無盗・無乱・無迷・無

欲」を中心として―

◇大谷大学日本史の会五月例会

五月二十九日(土)午後一時

於 慶聞館K二〇八教室

修士論文構想報告

新井 真帆

森口真奈美

八尾茉奈果

渡邊 誠

下村 優佳

文藝学会

◇「文藝論叢」第九十六号発行

(三月A5判四十七ページ)

〈目次〉

釈戒明請来「志公十一面観世音菩薩真身」像

野村卓美

芥川龍之介『道祖問答』の方法―素材としての「仏教」―

中川眞二

甘美なる家父長制―松浦理英子「最愛の子ども」論―

泉谷 瞬

乳幼児教育学会

◇「大谷大学乳幼児教育学会研究紀要」

創刊号発行

(三月十八日)

〈目次〉

巻頭言 子どもたちの未来に新たな軌跡を！

川北典子

指導法「言葉」の学びを深める保育現場における絵本の活用

川北典子

保育実習において学びを深める低年次での現場体験学習

川北典子

都道府県社会的養育推進計画に関する一考察―数値目標未達成自治体の憂鬱と目標達成自治体(京都市)への私的な提言―

木塚勝豊

ファッションショーを通じて行う総合表現学習の実践―卒業研究に向かう課題発見のための内発的動機づけに

塩見知利

関して―

保育心理士の専門性への視座―「保育人間学」の学び―

富岡量秀

プロジェクト保育における教材観

西村美紀

子どもと生活

松井玲子

発達障害の早期発見をめぐる現状と課題―一貫した切れ目のない支援を指して― 安田誠人

幼児期における能力認知と自己評価の変動の関連―能力認知によって喚起される感情の検討― 渡邊大介

近藤 綾
領域「表現」におけるICTを用いた総合表現の指導法の検討 矢野永吏子

太田智子
城 優香

初等教育学会

◇『大谷大学初等教育学会研究紀要』

第三号発行
(三月一日)

〈目次〉

低学年の鑑賞指導について

―初等科教育法(音楽)での模擬授業を通して― 市川郁子

発達障害等支援が必要な子どもを育てる母親への支援の在り方に関する一考察―親子の遊びの実態調査から―

井上和久
大久保圭子

県立特別支援学校のセンター的機能と市教育委員会が連携して作成した「特別な配慮・支援を必要とする幼児児童生徒の移行期の支援継続の手引き」の有用性の検討―教員への質問紙調査の結果から― 大久保圭子

井上和久
エリクソン理論の「劣等感」と失敗に対するマインドセット 田中久美子

教職実践演習「学級経営」に見られる学生の期待と不安―教育実習の学びと児童理解を助けるコーチングに関する考察― 谷 哲弥

会則

国語教育学会

◇卒業論文発表会(ポスターセッション)

一月十五日(金)開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大が危惧されたため中止となった。

◇『大谷大学国語教育研究』第八号発行

(二月二十五日)

〈目次〉

第一部 研究論文

国語科における「情報を精査・解釈する力」の育成―「お手紙」の実践を手がかりにして― 高橋由衣

「くじら(ぐも)」は歌ったか?―教材分析と実践の狭間― 望月謙二
外国につながる子どもたちの教育についての考察―新聞報道を手がかりに― 高野昭雄

第二部 卒業論文

国語科における話し合い指導の授業―「みんなで楽しく過ごすために」の実践を手がかりに― 岩佐志緒里

プレゼンテーションを用いた授業―「町の幸福論―コミュニティデザインを考える」を基に― 上野 心

文学的文章の指導法―「やくそく」の実践を手がかりにして― 馬瀬 涉

「学び合い」を用いて読みを深める授業―「風切るつばさ」の実践を手がかりにして― 合内彩夏

音読活動の指導法―「かずとかんじ」
の実践を手がかりにして― 深尾麻生
物語教材の指導法―「三年とうげ」の
実践を手がかりにして― 藤田湧気
物語文の指導法―「ごんぎつね」をて
がかりに― 村上龍輝